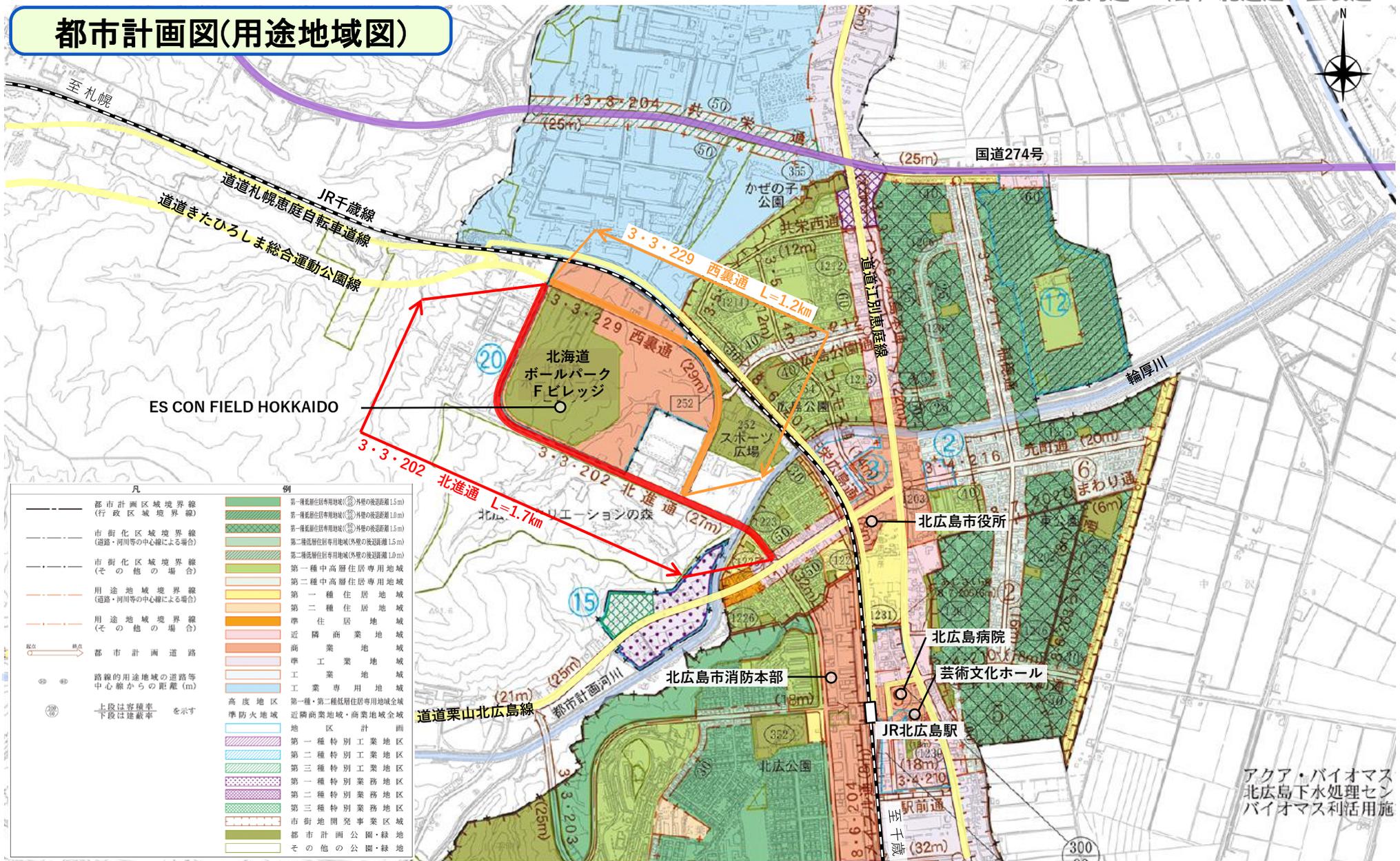


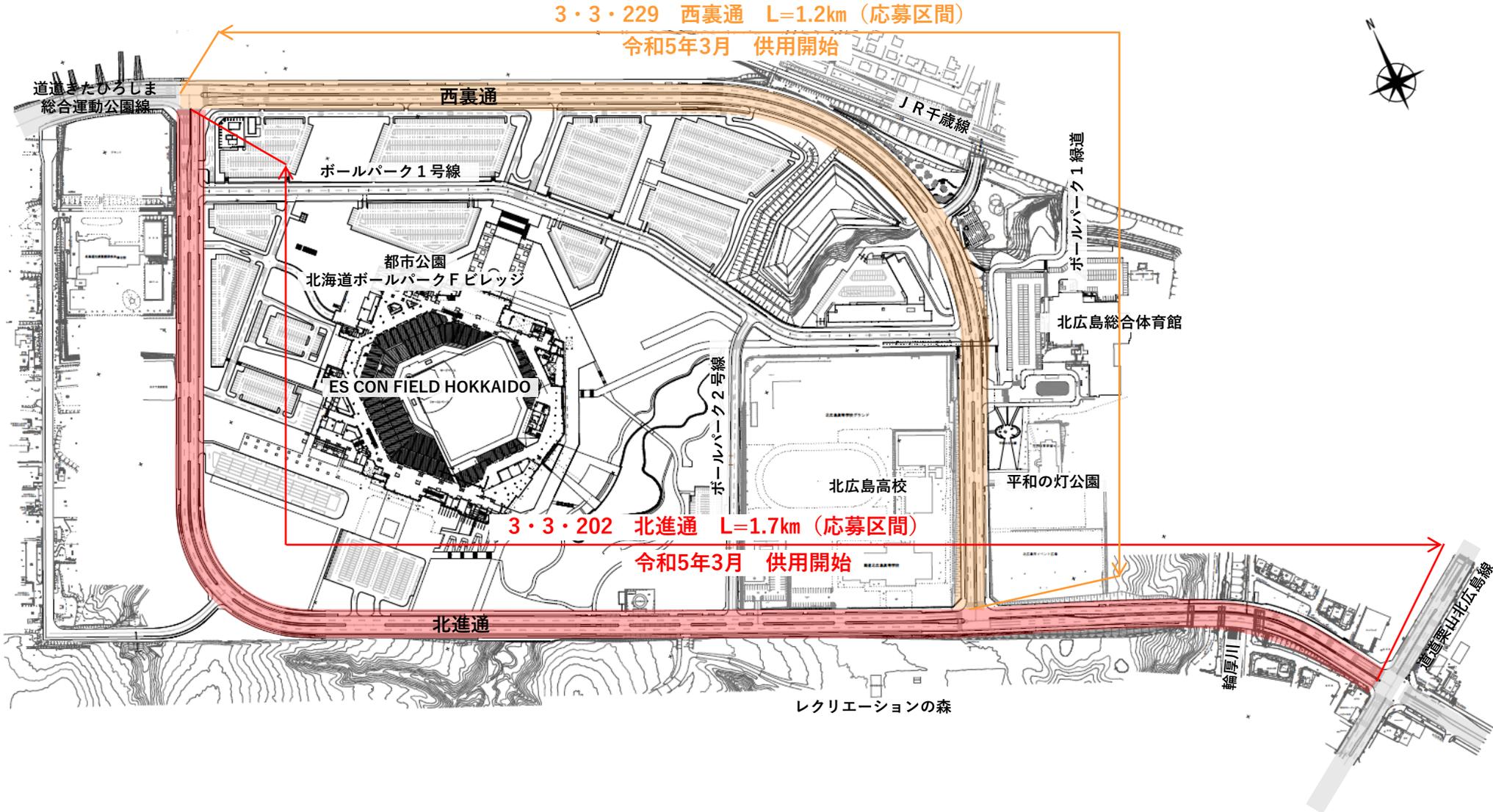
事業概要

応募No.	1		
事業主体	北広島市	事業箇所	北海道北広島市Fビレッジ地先
応募者名	北広島市建設部都市整備課		
ふりがな 事業名称	さっぽろけんとし けいかくどうろ 札幌圏都市計画道路 3・3・202号 北進通 及び 3・3・229号 西裏通 整備事業 ごう ほくしんどおり ごう にしうらどおり		
事業概要 (400字以内)	<p>本事業は、北海道ボールパークFビレッジへのアクセス道路を整備するものであり、交通混雑の緩和や安全な歩行空間の確保を図ることにより、官民連携プロジェクトによる賑わいの創出に貢献する事業である。</p> <p>●本事業による効果</p> <p>◆ 本事業と共に北海道で整備された道道きたひろしま総合運動公園線により、広域な道路ネットワークが形成され、道内各地からの交通アクセスが向上した。交通混雑が緩和されたことにより、賑わいの創出に寄与した。</p> <p>◆ 本路線は緊急輸送道路に指定されており、電線共同溝により無電柱化することで、防災機能の強化が図られた。</p> <p>◆ 各道路管理者、北海道警察本部、民間企業などと協力して組織された協議会において、円滑な交通体系を確立するための様々な施策について協議が行われ、これにより公共交通などのサービス水準の向上が図られた。</p>		
事業規模	事業延長(km)	約2.9km(北進通 約1.7km、西裏通 約1.2km)	
	幅員(m)	北進通 27.0m、西裏通 28.5m	
	事業期間(和暦)	令和2年度～令和4年度	
	事業費(億円)	約47億円(北進通 約33億円、西裏通 約14億円)	
受賞歴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		
URL	https://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/ballpark/		

都市計画図(用途地域図)

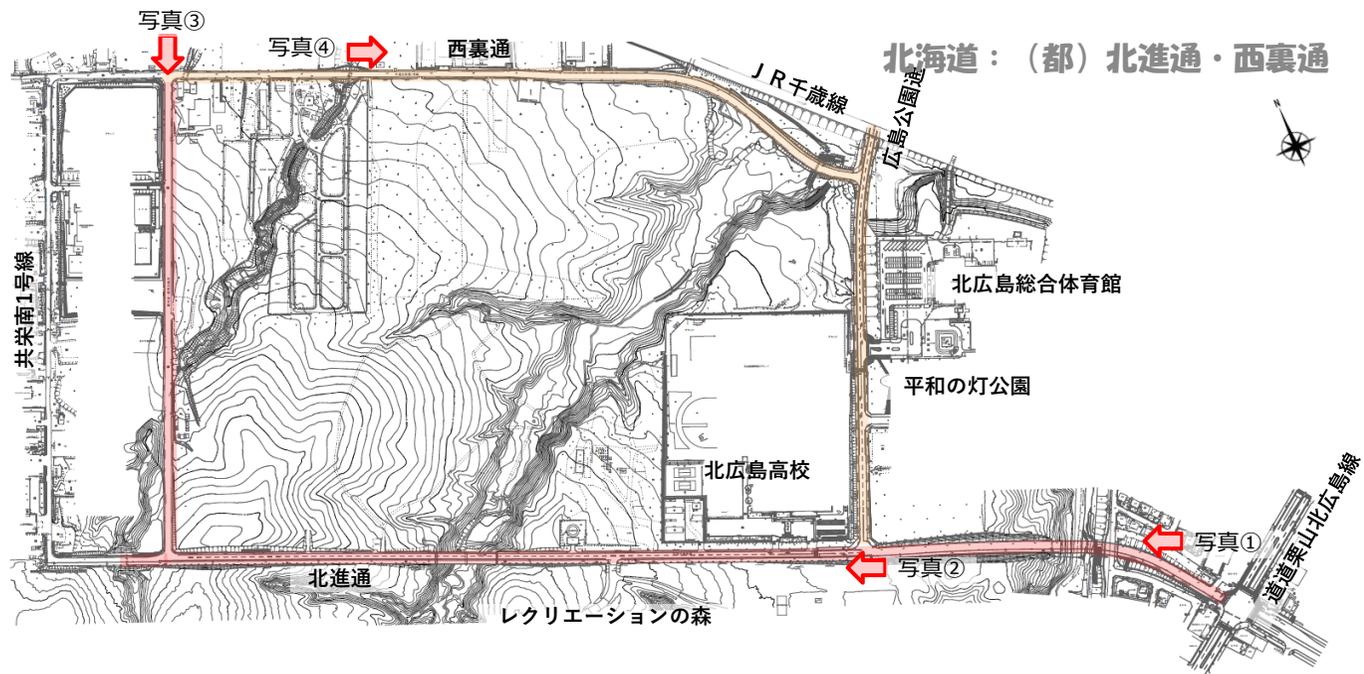


路線全体の進捗状況



平面図

事業前

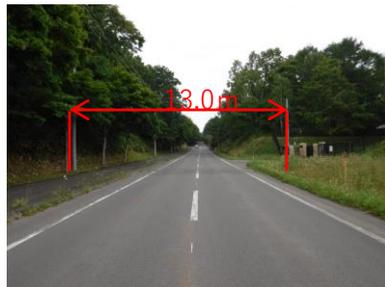


事業後

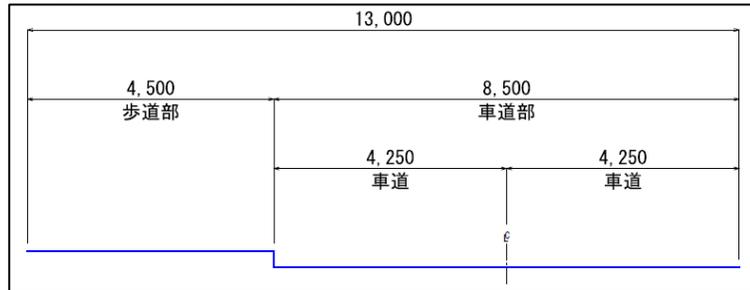


縦断図・横断図(北進通)

事業前

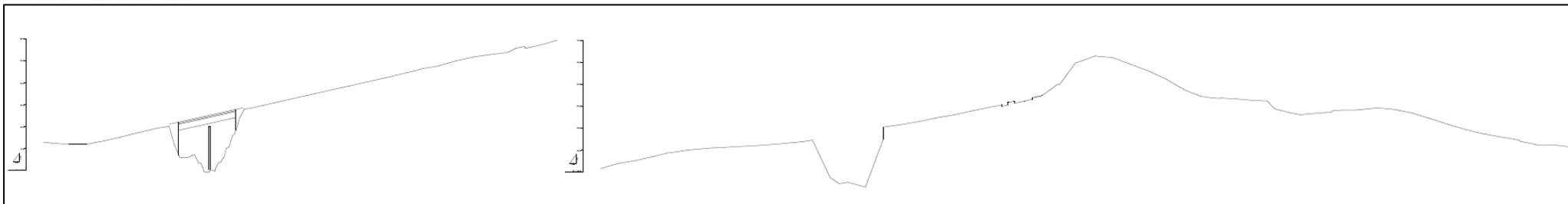


現況横断図(2車線+片歩道)



北海道：(都)北進通・西裏通

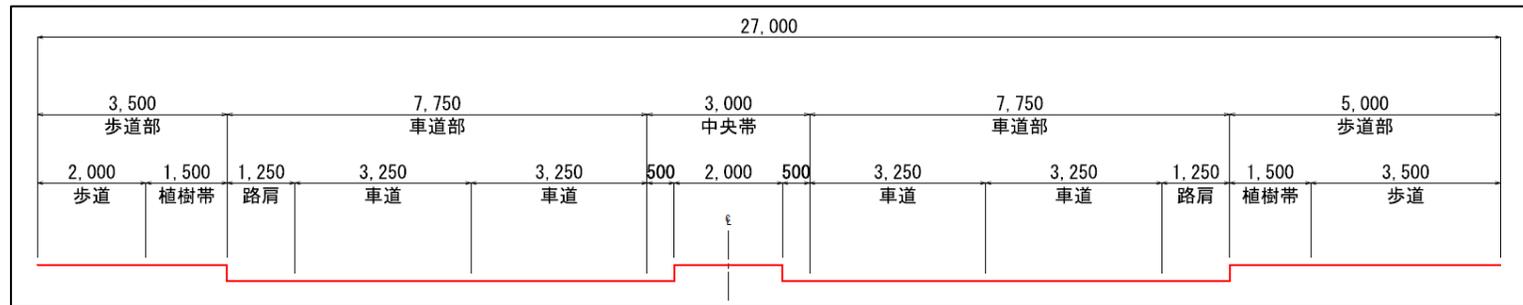
縦断図(道路改良前)



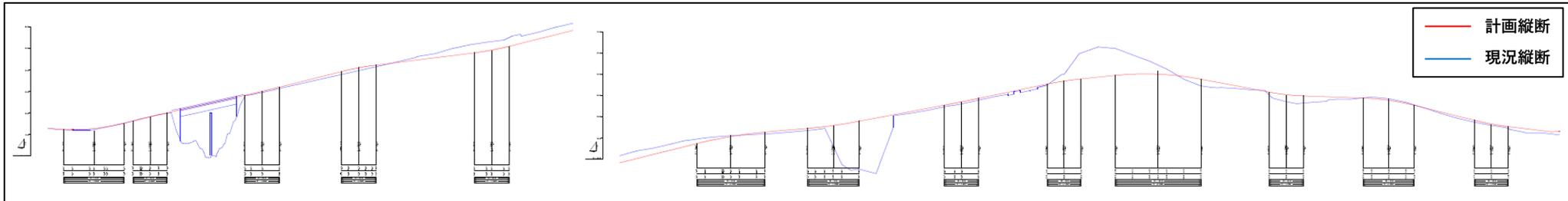
事業後



4車線拡幅横断図



縦断図(道路改良後)



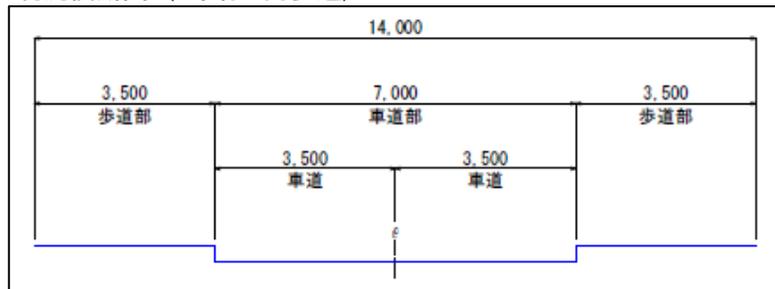
縦断図・横断図(西裏通)

北海道：(都)北進通・西裏通

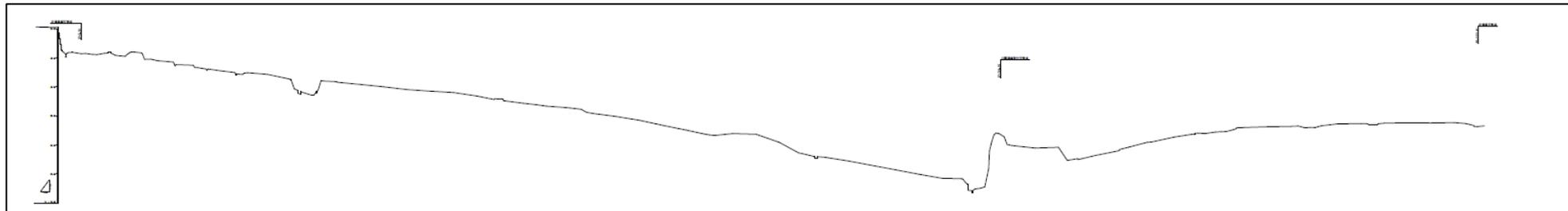
事業前



現況横断図(2車線+両歩道)



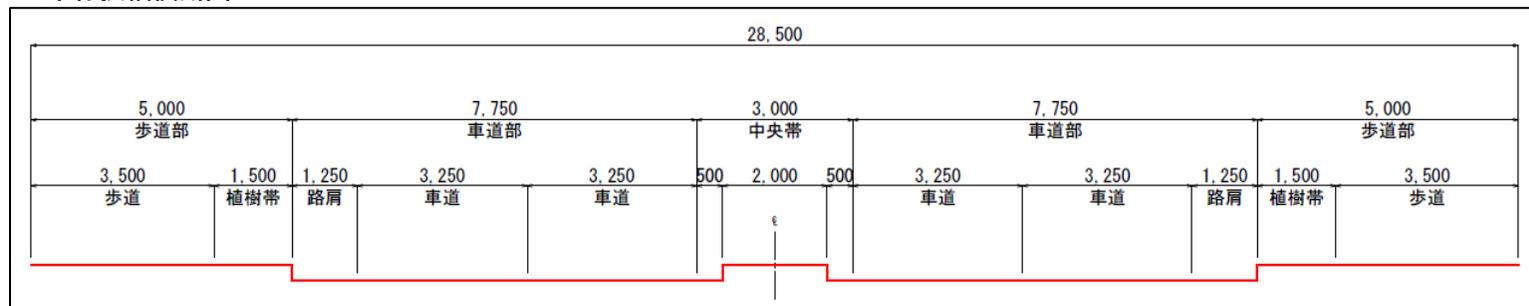
縦断図(道路改良前)



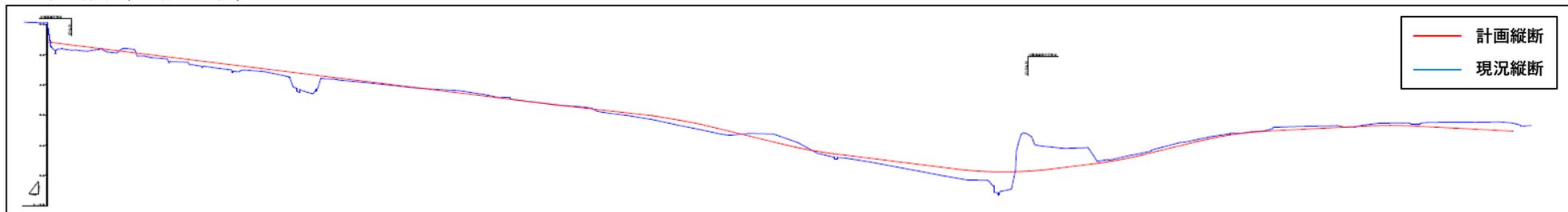
事業後



4車線拡幅横断図



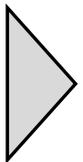
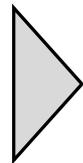
縦断図(道路改良後)



事業前写真

事業後写真

北海道：(都)北進通・西裏通

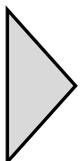
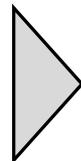


事業前写真



事業後写真

北海道：(都)北進通・西裏通



事業効果アピール資料

北海道：(都)北進通・西裏通

○ 交通混雑の緩和と賑わいの創出

(ファイターズスポーツ&エンターテインメント主催)

- 2023年3月30日に開幕した2023シーズンは、公式戦45試合で114万4451人と多くの方が来場している。(令和5年8月3日現在)
- 2023年8月3日に「北海道ボールパークFビレッジ」への累計来場者が200万人を突破した。プロ野球の非試合日においても、様々なイベントが企画されており、海外を含めた北海道外からも多くの方が来場している。
(非試合日平均来場者数 平日 5,000人、休日 10,000人)

- 試合開催日の多くの来場者による交通混雑が緩和された。
- 官民連携プロジェクトによる賑わいの創出に寄与した。



写真① (着手前)



写真① (試合日通行状況)



写真② (着手前)



写真② (試合日通行状況)



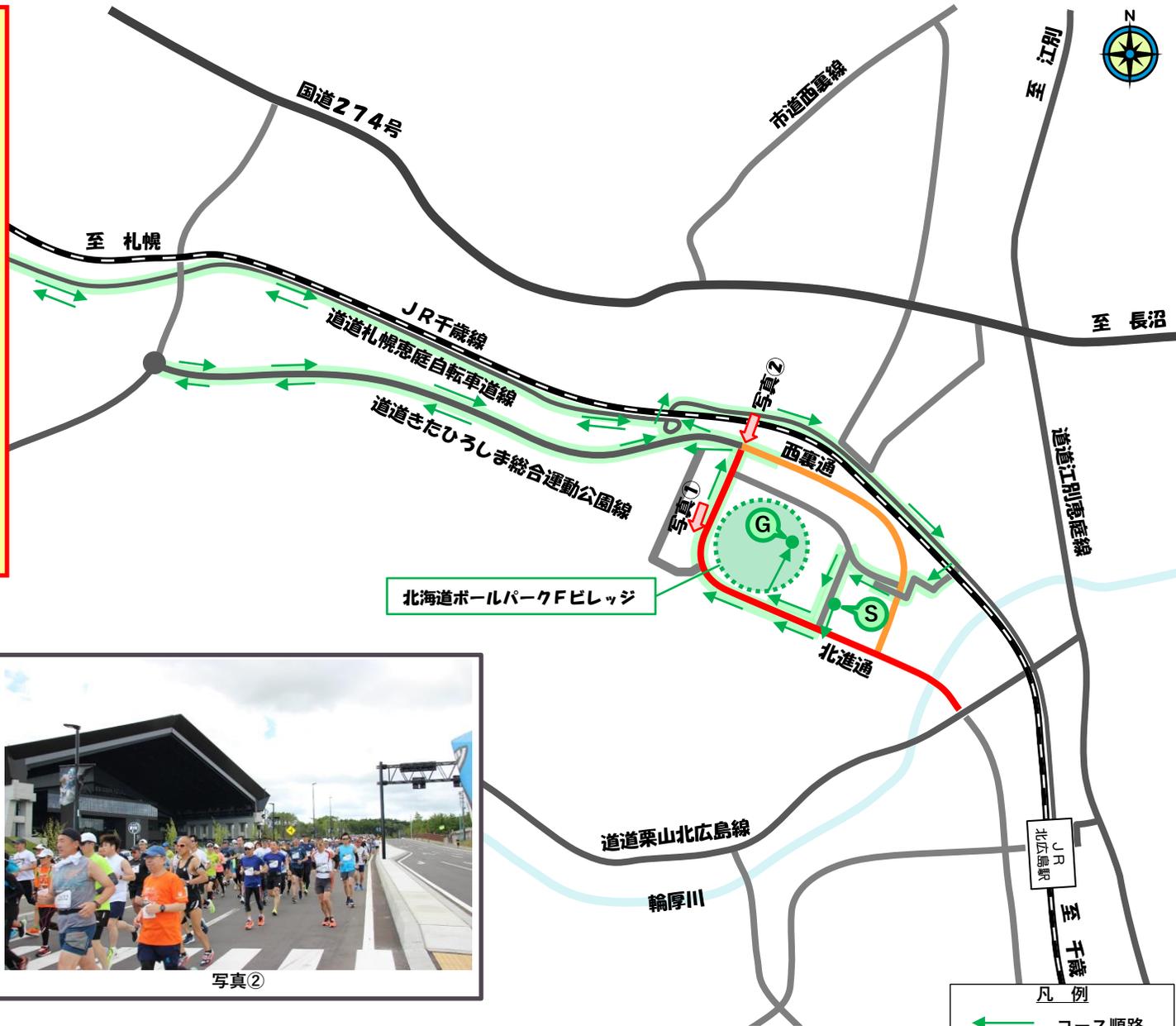
事業効果アピール資料

北海道：（都）北進通・西裏通

○ 賑わいの創出（イベント利用）

- 令和5年6月18日（日）に北進通及び西裏通、その他北海道ボールパークFビレッジ周辺道路をコースとしたマラソン大会が開催された。
- マラソン大会はハーフマラソン、10キロメートル、5キロメートル、約3キロメートル、きつねランの部に分かれ、総勢5,042人が参加した。
- 大会運営には、市内の高校生含む300人のボランティアの協力があった。

●マラソン大会のコースに活用することにより、参加者や運営スタッフ、観覧者など道内外から多くの人が集まり、**賑わいの創出に寄与した。**



写真①



写真②

事業効果アピール資料

北海道：（都）北進通・西裏通

○ 防災力の強化

- ▶ 北広島市地域防災計画にて、北海道ボールパークFビレッジを地域防災拠点に指定しており、さらに北進通及び西裏通は緊急輸送道路に指定されている。

地域防災拠点

★ES CON FIELD HOKKAIDO

一時避難者（観光客や帰宅困難者等）を収容する。

★北海道ボールパークFビレッジ防災備蓄倉庫

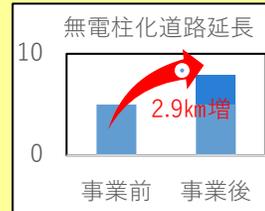
ファイターススポーツ&エンターテインメント（以下、FSE）所有の倉庫に北海道管理の防災備品をストックしており、災害時には球場のほか全道各地に備品を運搬する。

★北広島総合体育館・北広島高校

有事の際、当該対象地区住民の指定避難所として利用する。

- ▶ 電線共同溝方式により電線共同溝を整備。

（無電柱化道路延長2.9km増）



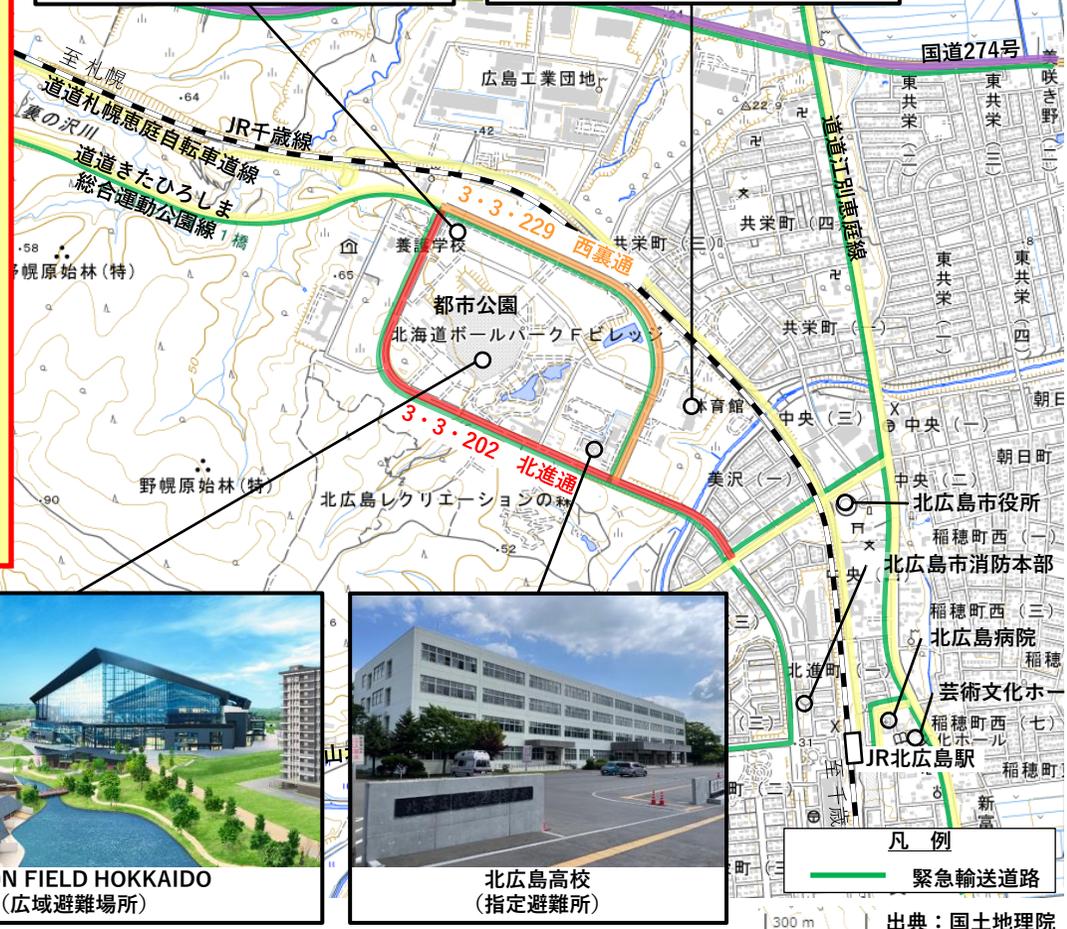
- 官民連携による防災拠点の整備、道路の無電柱化により**防災機能の向上が図られた。**



北海道ボールパークFビレッジ防災備蓄倉庫
(備蓄集積拠点)

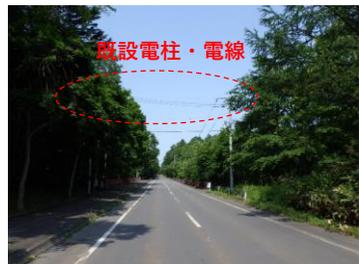


北広島総合体育館
(指定避難所)



電線共同溝

事業前



既設電柱・電線

事業後（無電柱化）



ES CON FIELD HOKKAIDO
(広域避難場所)



北広島高校
(指定避難所)

凡例
緊急輸送道路

300 m 出典：国土地理院

オール北海道ボールパーク連携協議会(2019年7月～)

(事務局：北広島市 ファイターズスポーツ&エンターテイメント(以下、FSE))
 (オブザーバー：国土交通省北海道開発局 国土交通省北海道運輸局 経済産業省北海道経済産業局)

北海道ボールパーク圏域連携勉強会

札幌市	小樽市	苫小牧市	江別市	千歳市	恵庭市	石狩市	新篠津村
南幌町	由仁町	長沼町	栗山町	新十津川町	雨竜町	白老町	当別町

食の魅力提供 分科会

周遊策 分科会

スポーツ・人づくり 分科会

交通 分科会

北海道	北海道警察本部	厚別警察署	北海道旅客鉄道	北海道中央バス	ジェイ・オール北海道バス
札幌観光バス	千歳相互観光バス	東日本高速道路	大林組	電通	学識経験者(宮脇教授・鈴木教授)
北海道バス(東京バスグループ)	北海道エアポート	ポーネランド	NTTドコモ		

全38団体により構成

○ 交通分科会による協議・調整

- ▶ 年間71試合開催予定のホームゲームでは、短時間に大量の来場車両及び歩行者の通行による混雑が予想され、渋滞対策と施設整備が課題となった。
- ▶ 各道路管理者、北海道公安委員会などの関係者全体で交通分科会を組織し、Fビレッジ開業に向け、スムーズな交通体系の確立・各種施策に関する協議を行った。

●交通分科会において、交通体系の確立・各種施策に関する周知啓発を協議したことにより、**交通体系や各種施策について、関係者全体で合意形成が図られた。**

●経路分散や時間分散などの渋滞対策を実施し、**公共交通などのサービス水準の向上が図られた。**

交通分科会

構成員

北海道開発局	北海道	東日本高速道路	札幌市
北海道警察本部	厚別警察署	FSE	北広島市

Fビレッジ開業に向けた各種交通モードの確立
 交通分担率に基づき、「**道路交通**」「**鉄道輸送**」
 「**バス輸送**」各分野での検討を推進

交通分科会において共有、調整

道路交通に関する事項

- 経路周知
- 駐車場運用方針
- スムーズな道路交通への寄与
- 施設整備

交通体系や各種施策に関する周知啓発を、
 ファイターズによる新球場開業
 プロモーションの一環として実施



オール北海道ボールパーク連携協議会



交通分科会

苦勞や工夫等アピール資料

○ 工程調整

➢ 令和2年度から令和4年度の3年間において、多数の事業者が工事を計画しているため、綿密な工程調整を行う会議を計画した。

- ◆ 道路新設（北海道、市）
- ◆ 道路改築・電線共同溝（市）
- ◆ 上下水道・調整池（市上下水道事業）
- ◆ 公園（市）
- ◆ 特別高圧電力管路（電力事業者）
- ◆ ガス管・ガス施設（ガス事業者2社）
- ◆ スタジアム建設・外構（(株)ファイターズスポーツ&エンターテインメント[施行者:(株)大林組]）
- ◆ Fビレッジ関連事業（関連事業者）
- ◆ 電線共同溝入線（電力事業者1社、通信事業者3社）

➢ 事業全域に多数の事業者が錯綜するため、週1回の工程調整会議にて、安全対策の徹底や各工事の進捗状況などを確認した。

● 工程調整会議にて、綿密な工程調整を行ったことにより、各事業者間の調整をスムーズに行うことができ、工程に遅れや手戻りが生じることなく、**令和5年3月に全線供用開始した。**



開通式（令和5年3月1日）

受賞歴・報道資料

報道資料

平成30年11月1日	朝日新聞にて掲載	「新球場 天然芝で開閉式ドーム」
令和3年3月20日	北海道新聞にて掲載	「体育館敷地や公園縮小へ」
令和4年6月29日	北海道新聞にて掲載	「ビッグボスブリッジ登場」